

いわき市新型コロナウイルスワクチン接種について

1 新型コロナウイルスワクチン5回目接種（オミクロン株対応ワクチン）

(1) 対象者

オミクロン株対応ワクチンを接種していない12歳以上で、4回目接種から3か月以上経過した方。本市の対象者数は約9万4千人。

※ オミクロン株対応ワクチンの接種回数は、1人1回まで

※ 接種間隔は、10月21日（金）から3か月以上（変更前は5か月以上）

(2) 接種券の発送

11月8日（火）から順次発送（4回目の接種が早い方から）

※ 接種券が届き次第、予約可能

(3) 使用するワクチン

本市では、9月28日からオミクロン株対応ワクチンの接種を行っており、5回目の接種においても当該ワクチンを使用しますが、国の方針に従い、使用期限が早く到来するBA.1対応ワクチンを優先して使用します。

BA.4/5対応ワクチンへの切り替えは、11月下旬の見通しです。

※ 2種類のオミクロン株対応ワクチン（BA.1、BA.4/5）接種に関する国の見解（厚生労働省ホームページ掲載の「新型コロナワクチンQ&A」より抜粋）

Q BA.1対応型ワクチンとBA.4-5対応型ワクチンは、どちらのほうが効果がありますか。どちらを接種したほうがよいのですか。

A オミクロン株対応2価ワクチンは、BA.1対応型であっても、BA.4-5対応型であっても、従来の1価ワクチンを上回る効果と、今後の変異株にも有効である可能性が期待されています。対応するオミクロン株の種類にかかわらず、その時点で接種可能なオミクロン株対応2価ワクチンを接種するようお願いします。

BA.1、BA.4-5は、いずれもオミクロン株の種類（亜系統）です。抗原性（免疫反応を引き起こす性質）について、オミクロン株と従来株との間の差に比べ、BA.1とBA.4-5との間の差は大きくないことが示唆されています。

オミクロン株対応2価ワクチンは、BA.1対応型であっても、BA.4-5対応型であっても、オミクロン株の成分を含んでいるため、現在流行の中心であるオミクロン株に対し、従来の1価ワクチンを上回る効果が期待されています。

また、従来株とオミクロン株の2種類の成分があることにより、誘導される免疫も、より多様な新型コロナウイルスに反応すると考えられるため、今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いことが期待されています。

このため、対応するオミクロン株の種類にかかわらず、その時点で接種可能なオミクロン株対応2価ワクチンの接種をお願いします。

(4) 予約サポートセンターの設置

高齢者などの予約を支援するための予約サポートセンターを、11月14日(月)から12月28日(水)まで設置します。(11月23日(水・祝)を除く)

来場する際は、接種券、本人確認書類、スマートフォン(お持ち方のみ)をご持参ください。

【設置場所等】

地 区	設置場所	設置曜日	時 間
平	中央公民館	火・木	午前 9:00～12:00 午後 1:00～5:00
小名浜	小名浜公民館	月～金	
勿来	植田公民館	月～金	
常磐	常磐公民館	月・水・金	
内郷	内郷支所	月～金	
四倉	四倉公民館	月・水・金	
遠野	上遠野公民館	月・水・金	
小川	小川公民館	月・水・金	
好間	好間公民館	月・水・金	
三和	三和支所	火・木	
田人	田人支所	火・木	
川前	川前支所	火・木	
久之浜・大久	久之浜・大久支所	火・木	

(5) スポット型集団接種

3回目、4回目の接種と同じ6地区で実施します。

接種人数は1か所140人です。

【スケジュール等】

実施日	時 間	地 区	会 場
12月24日(土)	9:00～12:00	川前	川前活性化センター ※
12月25日(日)	13:00～16:00	久之浜・大久	久之浜・大久ふれあい館
1月14日(土)	9:00～12:00	小川	小川公民館
1月15日(日)	13:00～16:00	田人	田人ふれあい館 ※
1月21日(土)	9:00～12:00	三和	三和ふれあい館
1月22日(日)	13:00～16:00	遠野	上遠野公民館 ※

「※」は、無料巡回送迎あり

2 乳幼児接種

(1) 対象者

生後6か月以上4歳以下(本市の対象者数は約9,000人)

(2) 使用するワクチン

ファイザー社製の乳幼児用ワクチン

※ 接種回数は3回

※ 接種間隔は、1回目→2回目は3週間、2回目→3回目は8週間

(3) 接種体制

市内9か所の医療機関（小児科 ※年内は約80人/週の接種体制

(4) スケジュール

11月10日（木） 接種券発送 ※接種券が届き次第、予約可能

11月18日（金） 接種開始

3 市職員へのアンケート

ワクチン接種の実態や接種に対する考え方を把握し、ワクチン接種率向上対策を検討するため、アンケート調査を実施。詳細は、別紙のとおり。

(事務担当)

新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム(電話：27-8606)

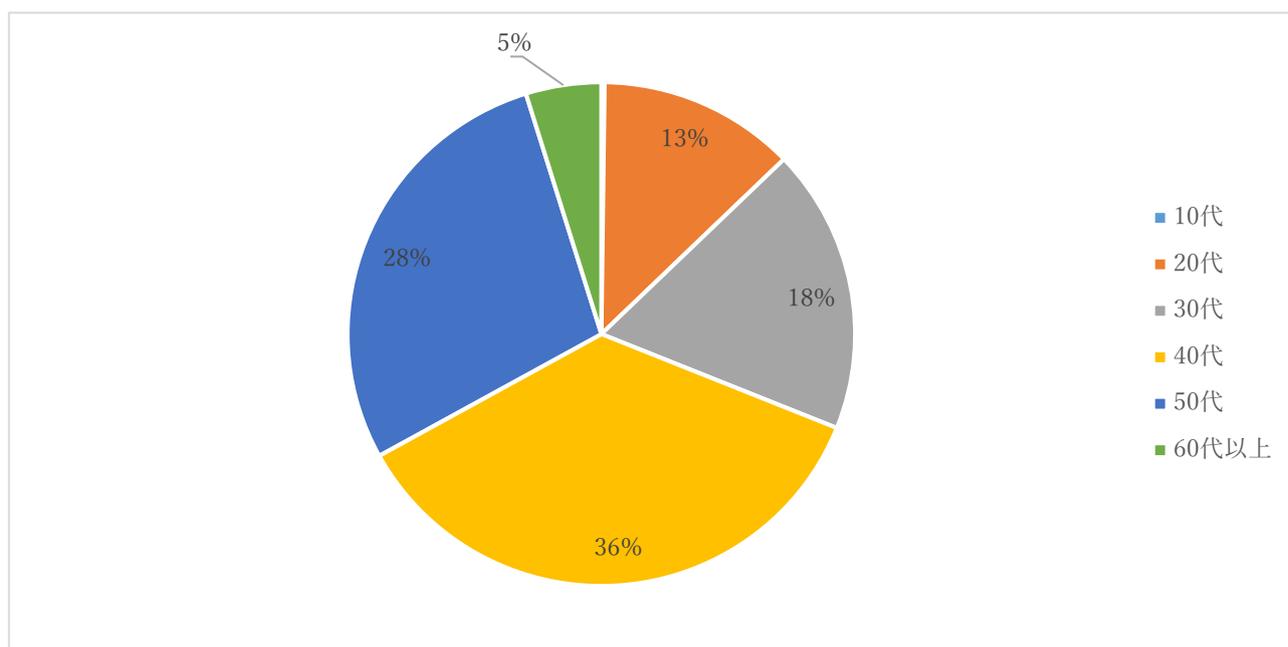
新型コロナワクチン接種に関するアンケート

新型コロナワクチン接種プロジェクトチーム

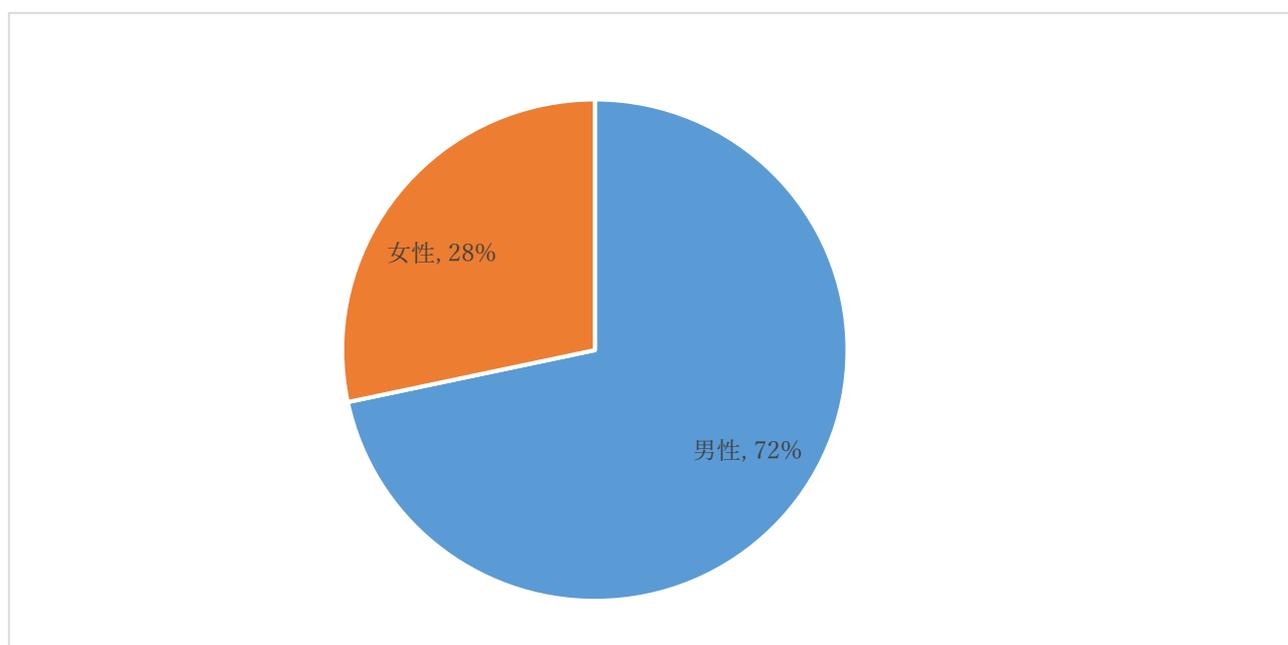
- 対象者 新型コロナウイルスワクチンを2回以上接種した職員
- 実施期間 令和4年10月18日（火）から令和4年10月25日（火）まで
- 回答者数 978名

【回答者について】

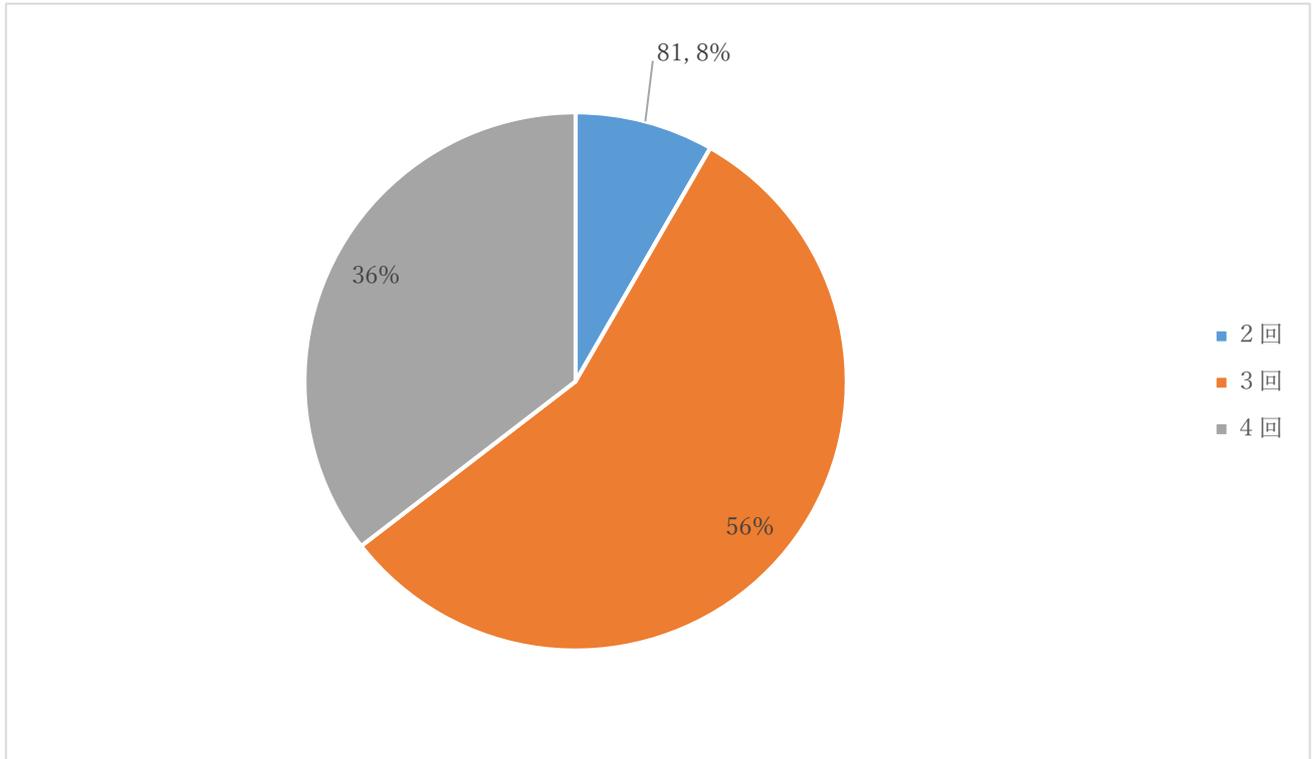
○年齢



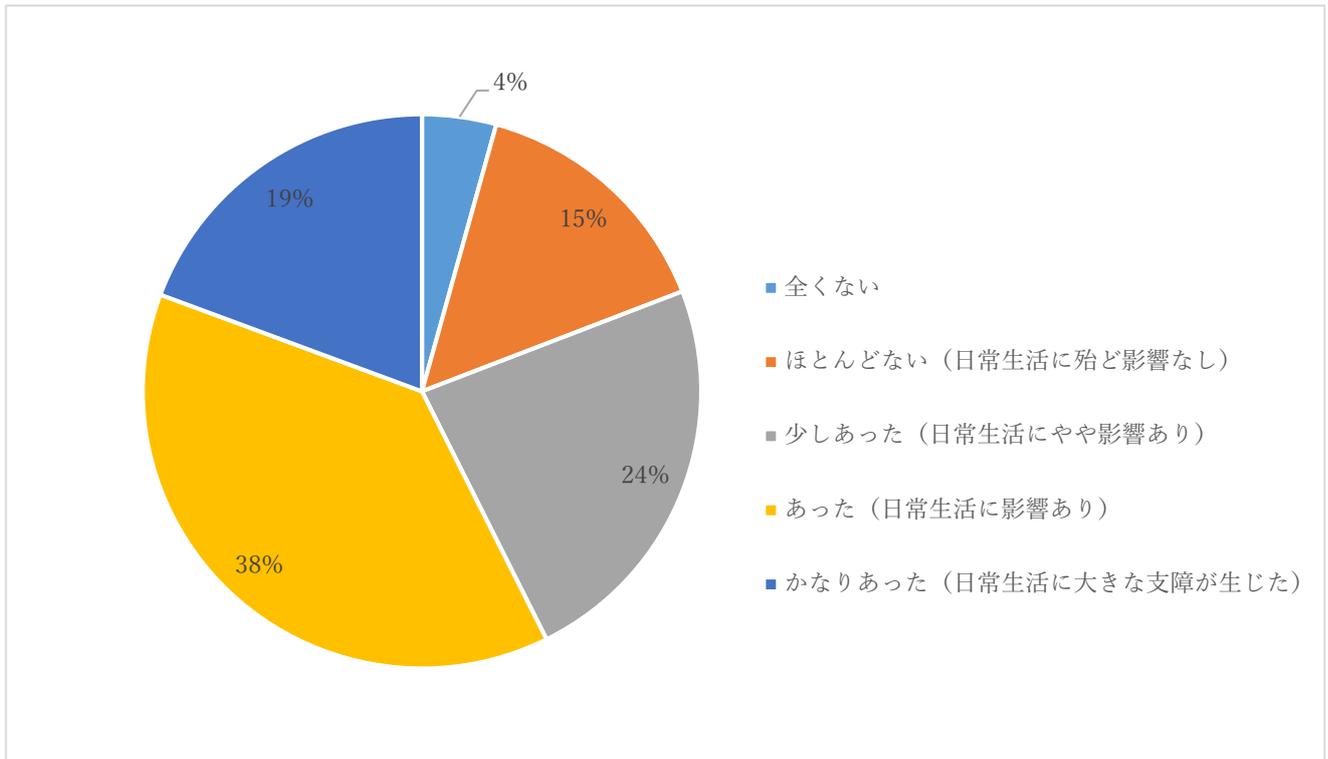
○性別



Q1 新型コロナウイルスワクチンを何回接種しましたか？

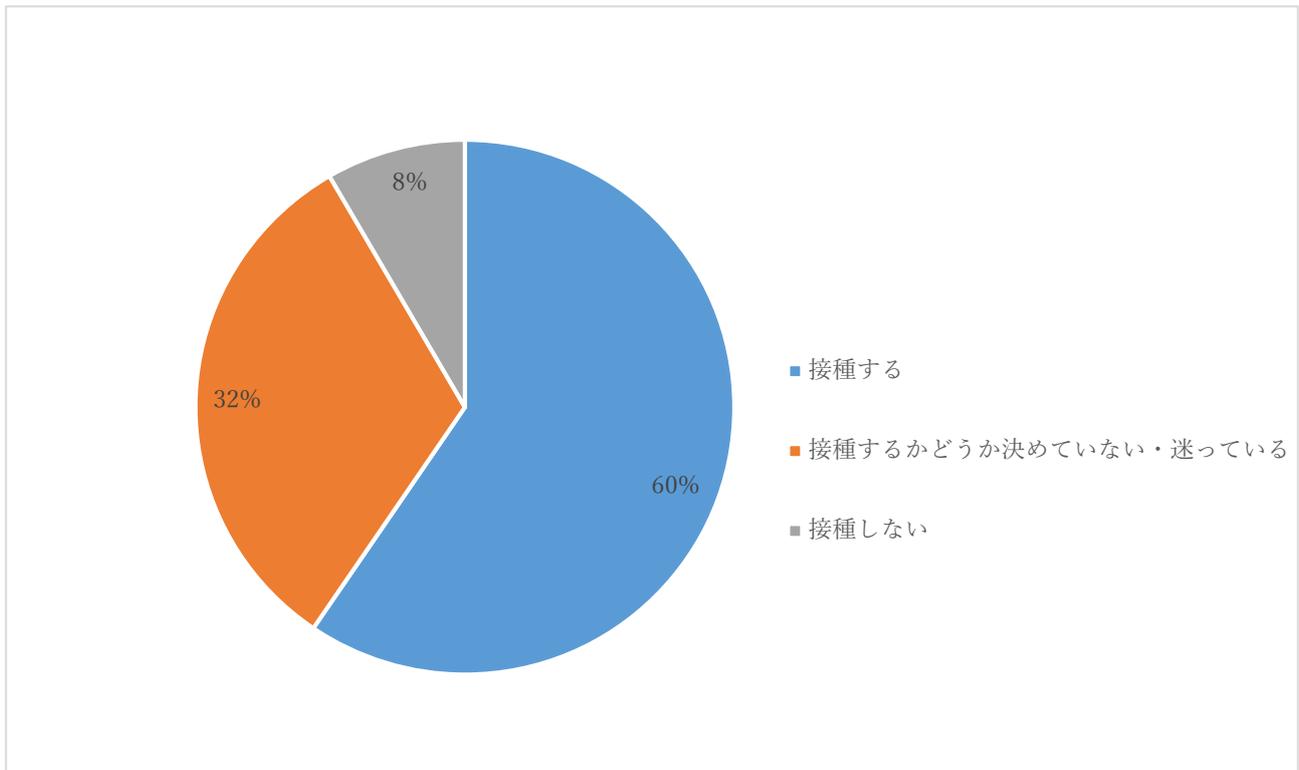


Q2 ワクチン接種後に、発熱等の副反応はありましたか？
(一番強く出た副反応について回答して下さい。)



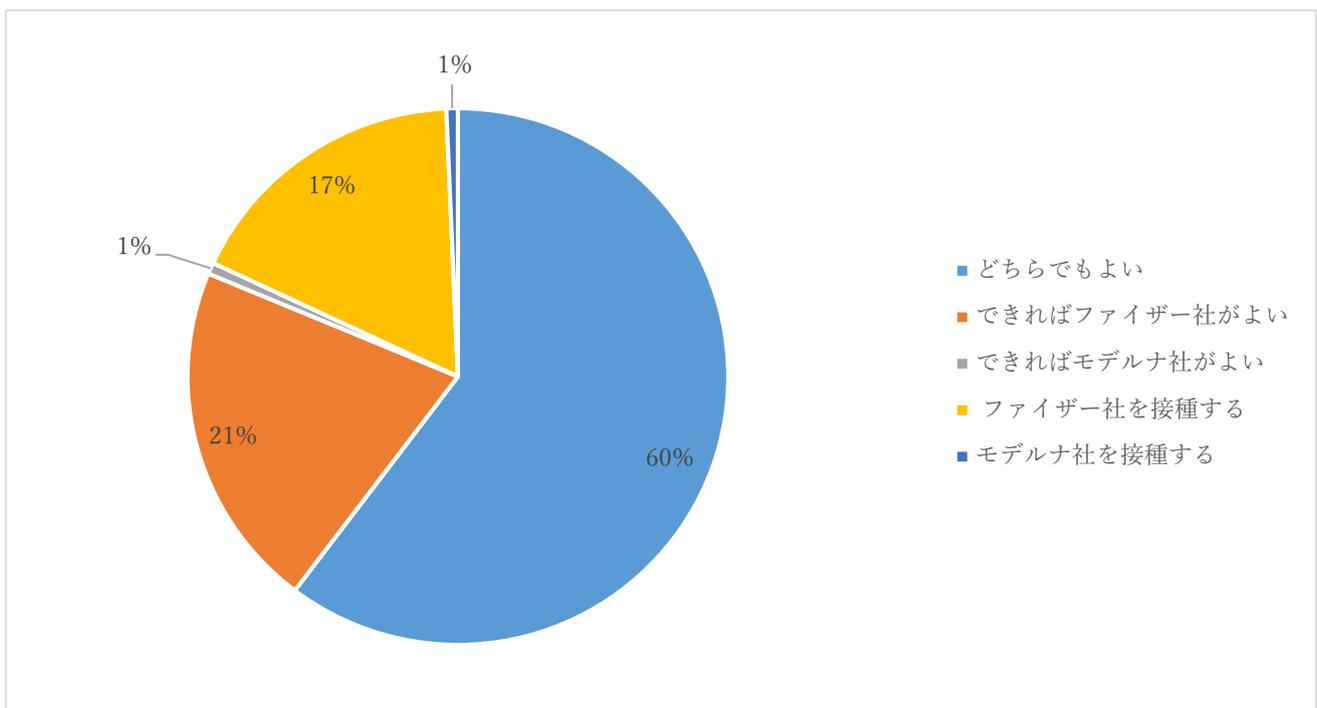
Q3 次回の接種をしますか？

※ オミクロン株対応ワクチンの接種回数は1回と定められており、当該ワクチンを接種済の方は、現時点では次回の接種はできませんが、今後、当該規定が変更になった場合や、別のワクチンの接種が可能となった場合を想定してお答えください。



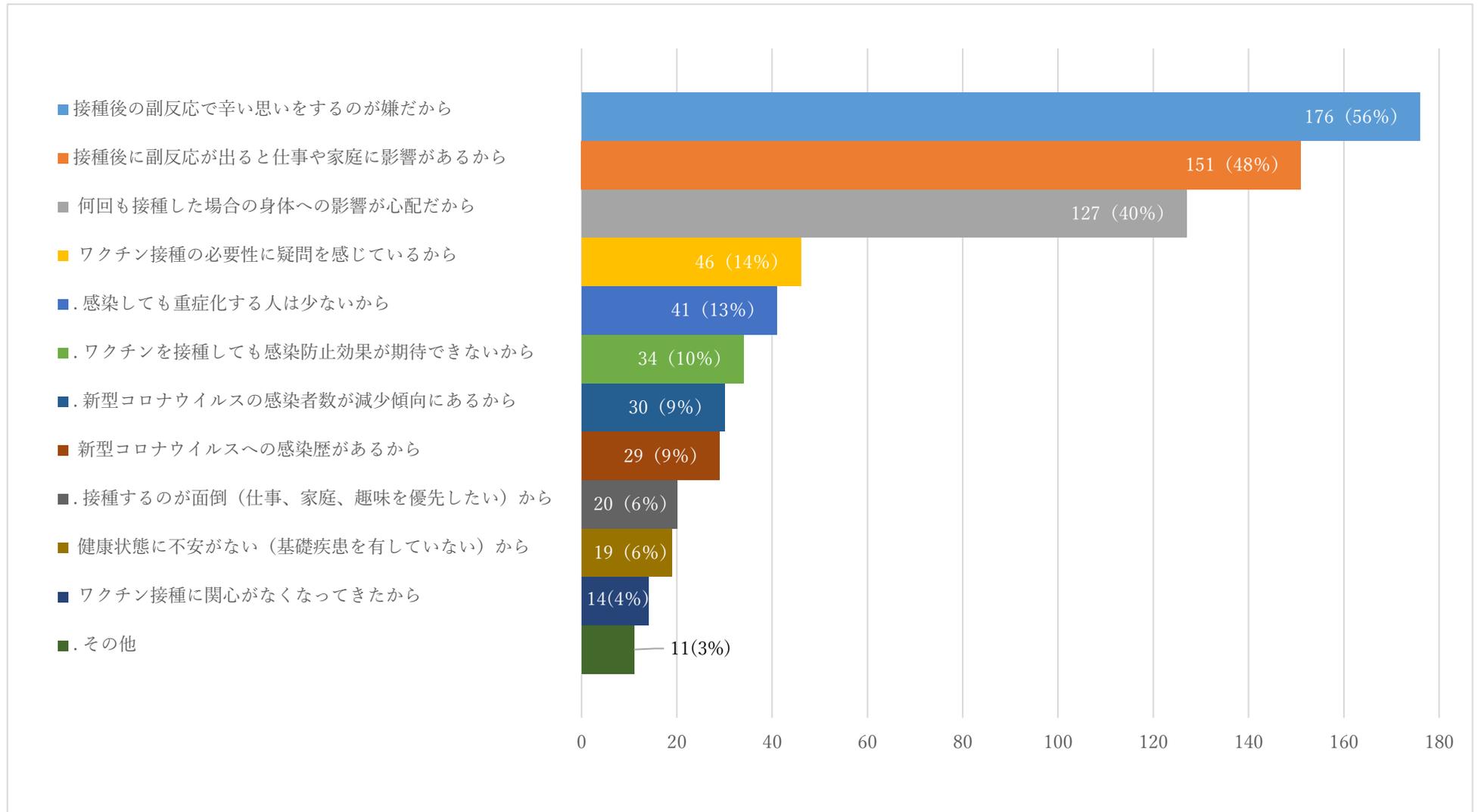
(Q3で「接種する」と回答した方)

Q4 次回の接種では、ファイザー社、モデルナ社のどちらのワクチンを希望しますか？



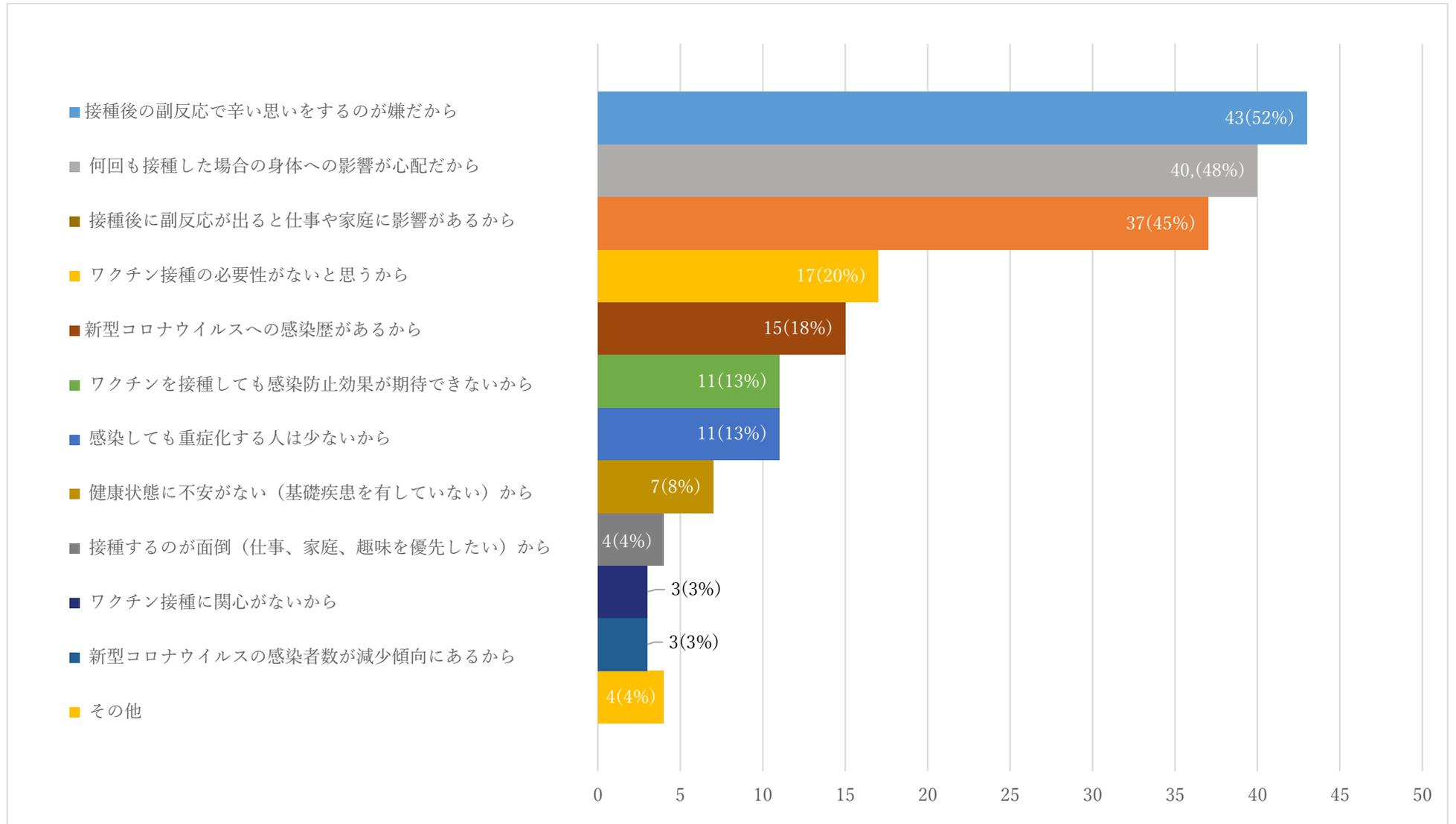
(Q3で「接種するかどうか決めていない・迷っている」と回答した方)

Q5 接種するかどうか決めていない・迷っている理由は何ですか？（複数回答可 3つまで）



(Q3で「接種しない」と回答した方)

Q6 接種しない理由は何ですか？（複数回答可 3つまで）



Q7 ワクチン接種に関する要望や、ワクチン接種率向上のアイデアがありましたらご記入ください。

【主な意見（多かった意見）】

- ・ ワクチン接種に関する情報発信が必要である。（「正確な情報」、「分かりやすい情報」、「効果や安全性の詳細な情報」、「副反応に関する情報」など）
- ・ 情報発信方法を工夫する必要がある。（「LINE でのプッシュ通知」、「Web サイトで自分自身の情報を入力する（選択していく）と、いつ、どのようなワクチンが接種できるかが分かる仕組みを作る」、「あらゆる広報媒体で繰り返し広報する」など）
- ・ 接種率向上のためには、接種に対するインセンティブが必要ではないか。
- ・ 仕事や学校がある人は、平日の昼間の接種は難しいことから、接種しやすい環境づくりが必要。